

## まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和2年10月22日（木）18：30～20：11

場 所：東山会館

出席者：12人

### 1. 開会

### 2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

### 3. これからのまちづくり（資料1参照）

- ・栗山赤十字病院の改築について

### 4. 懇談

### 5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料2参照）

- ・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料2-1参照）

- ・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料2-2参照）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料2-3参照）

（4）空き家の情報提供について

### 6. 閉会

#### 《意見》

町民：全部の説明が終わってから懇談にしてはどうか。

総務課長：最後に懇談として、次第を進めさせていただく。

#### 《懇談・質疑応答》

【栗山赤十字病院の改築について・その他（情報提供）】

町民：来年度中には、光回線が通るとのことか。

副町長：来年2月に進め方などの方針が決まり、住民説明をしていく。

町民：NTTが思っている契約数を獲得できなくても光回線は整備してもらえるのか。

副町長：今回は全区域整備ということになるので、そのようなことはない。こちらの地域は川端局からの整備になると思う。工事の進め方など詳細については、あらためてご説明をさせて

いただく。

町長：この案件は、南部地区から要望があったことであったが、新型コロナウイルスの影響もあり、家庭学習環境の整備として光回線の整備を国で進めていくタイミングとうまく一致した。

町長：栗山赤十字病院の診療科目について、他の自治会でも出ている話として、整形外科の午後診療をしてほしいといった要望が出ている。また、皮膚科など週1回の診療日数を増やしてほしいといった話も出ている。

町民：整形外科が午後休診なのは、手術などが入っていることが要因なのでは。

町長：手術などの他に入院患者の対応などもあると思う。もし、整形外科を午後診療にするなら医師を増やさなければ対応できないと思う。

町長：病床数は100床に減らしていく。一般病棟と療養病棟の割合についても、療養病棟の病床数を現状維持してほしいといった要望も出ている。

町民：私たちは、病床数のことなど言われても専門的なことはわからない。

町長：病床形態での診療報酬の差なども病院経営には大きく影響していく。病院経営の専門家などから意見を聞き、方針などを決めて皆さんにご意見を聞いていきたい。

町民：救急外来などは、そのまま維持していくのか。

町長：栗山赤十字病院は救急告示病院として、年間1200件を受け入れ、4~50件は、栗山赤十字病院で診療できず他の医療機関へお願いしている。建て替え後も、救急外来は継続していく。

町民：町のお金を振り込んでもらう際、毎年、預金口座の複写を提出するように言われる。コピー機がないので、毎回印刷していかないとならない。毎年決まった口座なのになぜ複写が必要なのか。コピーをしてもらうために、農協でコピーしてもらっている。どうにかできないか。

町長：どういった手続きなのかかわからないが、違う口座に間違えて振り込まれてしまうことを防ぐためではないか。この内容については持ち帰りたい。

町民：町から入ってくる交付金のこと。このデジタル社会に、なぜ毎回コピーが必要なのか。高齢者には厳しい。

町長：口座の写しが必要な行政手続きがどれくらいあるのかを調査して、検討したい。

(建設課から質問者へ回答)

毎年申請をいただいている「道路及び河川愛護事業」については、令和3年度の実績報告より「報告様式を変更して、前年度と振込先に変更がない場合、通帳の写しは必要としない。また、振込先の変更があった場合または新規に申請があった場合に通帳の写しが必要になります。

町民：栗山赤十字病院の内科外来に診療にいくと、違う先生になることがある。

町長：内科は出張医と常勤医師がいる。同じ医師の診察日に受診するなど必要になる。

町長：現地建て替えは難しいとお話しさせていただいた。今の建物の南側に広い敷地がある。

町民：工事期間中は病院を一度閉めるのか。

町長：病院を運営しながらの工事になる。薬局についての話も出ていたので説明したい。

日赤改築室長：昔は、院内に薬局があったが、国の制度が変わり、薬の処方(医師)と調剤(薬剤師)は分けることになり、医師ではなく薬剤師が薬を処方するようになった。薬局の場所については、病院と道路を挟まなければ薬局を建てられないこともあったが、現在は緩和され、敷地内でも薬局が建てられるようになった。

町長：コロナ検査についての情報提供をしたい。

日赤改築室長：栗山赤十字病院のコロナ検査について、11月9日から、発熱外来が運用開始になる。電話での予約受診になる。検査体制も整備される。抗原検査も受けられる。11月号の広報

にも情報が掲載される。

町民：栗山赤十字病院はコロナで入院できないのか。

日赤改築室長：入院することはできないが、専用の隔離病棟を用意している。

町民：コロナの対応ができる病院までは救急車で搬送してもらえるのか。

日赤改築室長：症状の状態にもよる。軽症であれば、保健所で病院まで運んでくれることもある。

町民：栗山は、正直なところ感染者は出ていないのか。

町長：感染者が出れば、私のところに情報が入る。そういう話が来ていないので、感染者が出ていない。もし、感染者が出たとしても、誹謗中傷などしないようにしなければならない。

町民：無症状でも入院になるのか。

日赤改築室長：病棟が空いていれば入院してもらおう。感染者が増えて満床になれば、自宅療養か、札幌などであれば、ホテルなどを隔離室として開放しているところもある。

町長：無症状であっても、安心して検査できるような環境を作っていきたい。

町民：もし、栗山赤十字病院でコロナ検査ができるようになれば、感染者が出てくるのではないのか。

町民：NTT 光回線の契約と合わせて、携帯電話の電波状況も改善できないのか。この地域は、携帯電話の受信状況が悪い。

町長：携帯電話の電波状態を改善させるためには電波塔を作らなければならない。NTT とも話をしていきたい。

町民：東山会館は圏外になる。

町民：光回線が出来上がるころには、病院の在り方も変わっているかもしれない。

町長：栗山赤十字病院が改築され、光回線が整備される、6年後にはいろいろ変わるかもしれない。

町民：栗山スキー場がなくなったが、跡地の活用はどうするのか。

教育長：リフトなどは撤去を完了し、これから跡地の活用をどうするか話し合いたい。

町民：雪が積もったときに、そりを持って行ってスキー場跡地へ遊びに行くことは難しいのか。

教育長：スキー場の閉鎖に伴い、フェンスなどもなくなり、人もいないことから、事故などの対応ができないため、使わないようにということで立ち入り禁止にしている。

町民：継立中学校の跡地の状況を教えてほしい。

町長：継立中学校跡地は、公募をしているが、なかなか活用するところまで至っていない。今後とも継続して企業誘致をしていきたい。

町民：小学校の存続などは、何か方向性はあるのか。

教育長：非常に難しい問題。学校をなくすか残すかではなく、やるべき学習ができるかどうか重要だと思う。小さい規模の学校の良さもある。ただ、人数が少なくなってくると体育の授業などが難しくなる。授業ができなくなるようであれば、統合も将来的に考えなければならない。

町民：角田と継立を合併して2校にするのか。栗山小学校1校にするのか。

教育長：統合については、しっかりと話し合わなければならない。保護者や地域の方々の意見を聞きながら進めていかなければならない。

町民：おそらく児童数は把握されていると思うが、児童数の推移はどういう感じで進んでいるのか。

教育長：減少しながら推移している。あと4年後に、栗山小学校が1学級体制になる。これが今の町内の子どもの数の現実。将来的には、統合の話も考えなければならない。

町民：小さな学校の子は、大きな学校に行くことに抵抗がある。小さい子の心のケアをしっかりとしてもらいたい。

町民：栗山高校の魅力づくりの話も出ているが、生徒の数が減っているなら、盛り下がる。

町長：栗山中学校から、栗山高校へ入学している子は多い。近隣の生徒が栗山高校を選択してもらえる魅力づくりを検討していく。

町民：よその地域の子を栗山高校に入学させたいのであれば、よその地域でこの話をしないと効果がないのではないか。

町長：生徒数は全体的に減少しているが、学校同士で連携を図っているところも増えてきている。空知の高校が減ってきている中で、栗山高校は何としても存続させていきたい。

町民：通学路線を見直してもらえると、こういう地域の子どもたちも通いやすくなるのではないか。

町長：南幌高校がなくなるときに、通学バスなどの整備について検討していた。通学の利便性は学校選びの中でも大きいと思う。

20：11 終了